



【教育目標】 自分をみがき、人とのかかわりを大切にして、たくましく生き抜く児童を育成する。

【めざす児童像】 ○ 本気で学ぶ子 ○ 思いやりのある子 ○ きたえる子

【基本方針】 児童一人一人が、それぞれの「夢」の実現に向け、「豊かな人間性・社会性」「確かな学力」「健康とたくましさ」をバランスよく身に付け、将来にわたって自己実現を図るための選択肢を多くもてるようにしていく。

平成 33 年度までにめざす児童像

自ら学び、考え、表現できる児童

進んで人とのかかわり、豊かな心をもった児童

めあてをもち、ねばり強く心身をきたえる児童

「あ・は・も」(あいさつ・はっぴょう・もくひょう)が自慢の塩川小学校

考えや想いをはっぴょうできる子ども

気持ちが伝わるあいさつができる子ども

もくひょうを持ってやり遂げる子ども

経営方針：コンピテンシー教育の推進・フライド教育の充実・R(PDCA)サイクルの徹底・みんなが資源、みんなで支援

思考力・判断力・表現力(活用力)

指標：NRT成就値アップ100%

問いをもち、共に考え、解決する力
＜学びづくり＞

- 活用力を育む対話的な学びの充実（活用力）
 - 塩川小授業スタンダードの共通実践
 - ・書く→話す→話し合っ解決（対話学習）
 - ・ペア学習と、まとめ・振り返り
 - レディネスを揃え、積み残しを作らない学習活動と人的資源の活用・充実
 - 重点単元でのTT指導、習熟度学習
- 自学・自習力を育成する家庭学習等の充実
 - 個に応じた宿題や自主学習の取組
 - 条件作文の実施
- 読解力を高める読書活動の充実（読み解く力）
 - 学校司書と協働した読書センター・学習センター等の機能発揮
- 一人一人の学ぶ意欲を高める特別支援教育の充実
 - 個別的教育支援計画に基づいた指導
 - ユニバーサルデザインの視点を生かした授業の充実（全学年）

共助・協働の態度、コミュニケーション能力

指標：QU満足群 80%以上。いじめ・不登校 0

自他のよさを活かし、協働する力
＜心づくり＞

- 教育力のある学級集団づくり
 - 学級力を可視化した自治的集団づくり
 - 学級・学校生活を向上させる「スマイルタイム（学活）」の実施（自治力）
 - 自己肯定感と友達肯定感を高める「なかたぐタイム」の実施
- 育てる生徒指導の充実
 - 人間関係をつくる・維持するスキルの育成（SSTによるスキルと共感能力）
- 豊かな心と社会化促進の道徳教育の推進【重点指導項目】
 - 創意工夫／規則の尊重／個性伸長
 - 考え、議論し、自己の生き方についての考えを深める道徳授業の充実
- 思考・感情・行動に視点をあてた体験活動の充実
 - 縦割り活動、異学年交流活動の充実
 - 地域ボランティア、ゲストティーチャーとの協働

自己啓発の力

指標：自分によいところある児童 100%

自己指導能力
＜体づくり＞

- 自律と自立をめざす生活習慣の育成（基本的な生活習慣、自己肯定感）
 - 規律ある生活リズムの保持
 - 中学校区学校保健委員会の取組み
 - 「オフスクリーン喜多方っ子運動」と「塩川ルール」の周知・徹底
- 日常的な体力づくりの推進
 - 体力向上推進計画に基づく実践（筋力、瞬発力、投感覚の向上）
 - 運動身体づくりプログラムの継続
- 体の土台をつくる食育の推進
 - 栄養教諭と担任、学校と家庭・地域の連携による食育の推進
- 安全に行動できる力の育成
 - 実態に応じた実践的な安全指導による危険予知及び回避能力の育成
 - PTAと連携した具体的な実践
- 「自分手帳」の積極的活用
 - 運動・食・生活に関する望ましい習慣の形成

家庭・地域・関係団体との連携

- ヘルメット・防犯ブザー着用 100%
- 8時以降はオフスクリーン
- 地域資源を活用した教育活動（CSの模索）

学校像

- ◆ 活気と活力に満ちた学校
- ◆ 安全・安心に過ごせる学校
- ◆ 子どもの確かな学びと育ちを保証する学校
- ◆ 保護者・地域が一体となって子どもを育てる学校

教師像

- ◆ 児童を笑う教師でなく、児童と笑う教師
- ◆ 具体的な児童の姿で説明できる教師
- ◆ 自己目標をもち、常に研修に励む教師
- ◆ 児童・保護者・地域から信頼される教師

保護者・地域の願い

- 思いやりのある子ども
- たくましい心と体をもった子ども
- 確かな学力を身に付けた子ども

児童の願い

- 勉強がわかるようになりたい。
- みんなと仲良く、楽しく過ごしたい。
- たくましい体をつくりたい。

時代の要請

- ＜育成すべき資質・能力＞
 - 学びに向かう力・人間性の育成
 - 生きて働く知識・技能の習得
 - 未知の状況に対応できる思考力・判断力・表現力の育成

【会津教育事務所 基本目標】

- 知・徳・体のバランスのとれた、社会に貢献する自立した人間の育成
- 学校・家庭・地域が一体となった教育の実現
- 豊かな教育環境の形成

【喜多方市教育委員会】

- I 自己啓発力の育成 II 学ぶ力の基となる基礎的な資質・能力の育成
- III 勤労観、職業観及び職能の基本的資質・能力の育成
- IV 共助、協働の態度及びコミュニケーション能力の育成
- 「喜多方の3つの共通実践」（まとめ、学級力、自己効力感）